



3/20
[金]

アイデアいろいろ 手作りマスク

「マスクが手に入らないなら、家にあるもので作りましょう!」と山本正六さん(湯山町)は、ハンカチ、ハンドタオル、はぎれ、を使ったマスクの手作りを広げていました。「耳にかけるゴムが無ければ毛糸やヒモでもできますよ。裁縫が苦手でも、ポイントだけ縫ってとめれば難しいことはありません。」お店でマスクが買えなくても「アイデアを楽しんで、落ち着いてすごしてほしい。」とも語ってくれました。



どの活動も、
換気に十分注意した環境で
実施されました。

3/30
[月]

高校生とタッグを組んで 新たな仕事に意欲

地域課題をビジネスの手法で解決する高浜高校SBPが、高浜市のふるさと納税の返礼品に自分たちが選んだたかはまの名品を「セレクトギフト」として提供していきます。障害福祉サービス事業所である「チャレンジサポートたかはま」が、全国への発送準備を請け負うことになりました。

高校生が梱包の仕方を伝え、コロナの影響で業務が減少していた「チャレンジサポートたかはま」メンバーも新たな仕事に意欲的に取り組んでいました。



4/6
[月]

フレッシュな顔ぶれがまちをきれいに

満開の桜のした、NTテクノ(論地町)の新入社員60人が、研修の一環として工場周辺を清掃しました。「環境美化だけでなく、社員たちが高浜市のまちのようすを知ることも目的に長年実施しています。高校を出てすぐ遠方から就職した社員もいますので近隣の住民の方に支えられて私たちの会社があることを伝えたいです。」と担当の山本さんが話してくれました。コロナウイルスの辛いニュースが続きますが、この春も若者がまちのあちこちで新生活を始めています。暖かく見守ってください。

